

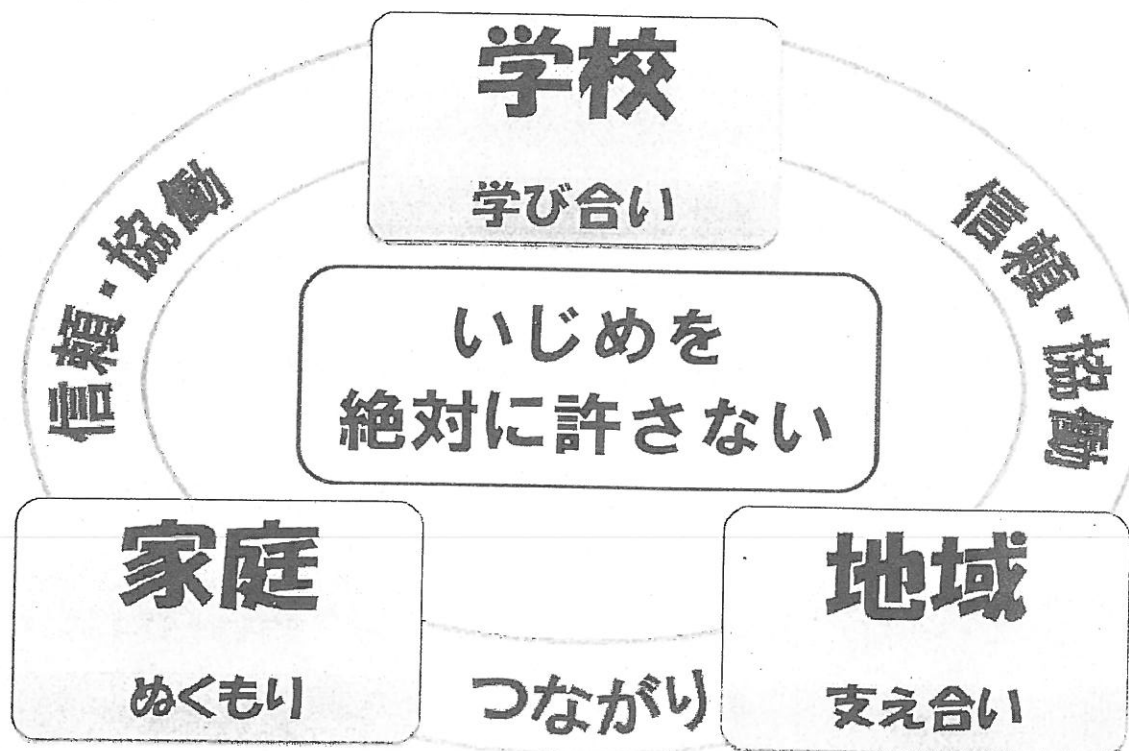
いじめを許さない、いじめのない 学校・地域をめざして

本市では、いじめは「どの子どもにも、どの学校においても起こり得るものである」との認識に立ち、市民総がかりによる、学校、家庭、地域が一体となった、いじめを許さない、いじめのない学校、地域づくりを進めています。その取組の一つとして、平成25年度から持ち帰り方式による「いじめアンケート」を実施しています。

このリーフレットは、6月に引き続き、今年度2回目として、10月に全小・中学校の児童生徒とその保護者を対象に実施した「いじめアンケート」の主な結果をまとめたものです。

保護者の皆様におかれましては、アンケートの実施に際し、ご協力いただき誠にありがとうございました。

これからも、「宇部市いじめ防止基本方針」や「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめを許さない、いじめのない学校、地域づくりを進めていきますので、家庭、地域におかれましても、学校と連携した取組にご協力をお願い申し上げます。



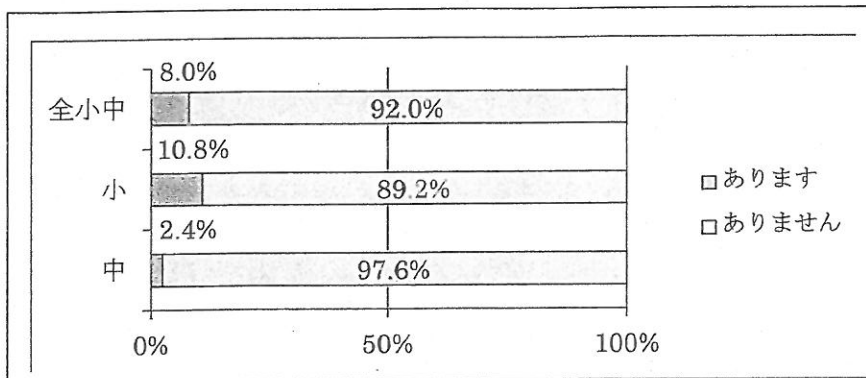
宇部市教育委員会

本市の実態 平成28年度・10月実施「いじめアンケート」の結果から

実施日：10月28日 回答期限：11月4日 対象：宇部市立全小・中学校児童生徒及びその保護者
集計（回収人数/アンケート配付人数、回収率）

全小・中学生（12,174人/12,204人 99.8%） 保護者（12,036人/12,204人、98.6%）
小学生（8,165人/8,181人、99.8%） 中学生（4,009人/4,023人、99.7%）

問1 あなたは、6月のアンケートを終えてからいじめを受けたことがありますか。（児童・生徒用アンケート）



◎「あります」が、小学生は10.8%(9.3人に1人)、中学生は2.4%(41.7人に1人)になっています。

◎「あります」の中で、小学校1年は13.5%、2年は15.7%、3年は12.4%であり、低学年は、毎回高い率となっています。発達段階に応じた適切な指導が大切です。

◎保護者アンケートにより、継続しているいじめを42件(小35件、中7件)発見しており、今後も、保護者と連携した取組が重要です。

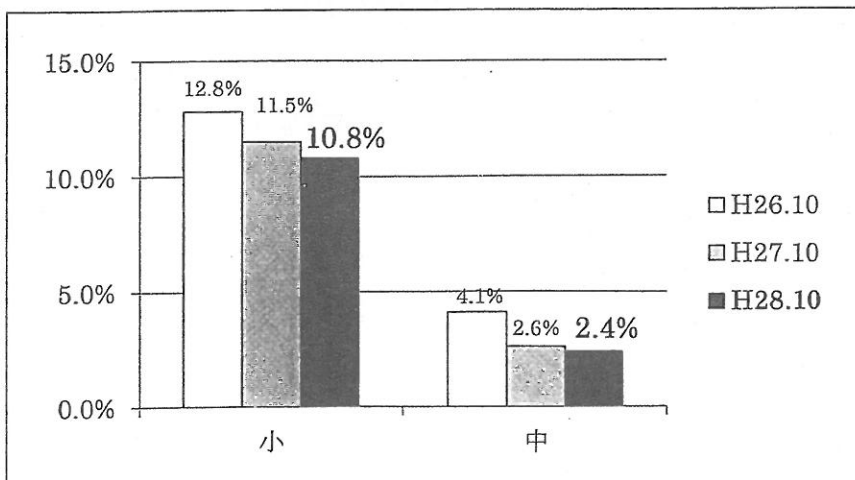
	児童生徒		保護者	
	あります	ありません	あります	ありません
小	885人	7,280人	445人	7,660人
中	95人	3,914人	69人	3,862人
全小中	980人	11,194人	514人	11,522人



問1 で「あります」と回答した児童生徒に対して、学校が聞き取り調査を実施

◎児童生徒、保護者のどちらかが「あります」と回答した、児童生徒すべてに聞き取りを実施しました。その結果、全小・中学校で66人(小学生59人、中学生7人)に対するいじめが継続していることがわかりました。学校は、いじめを受けた児童生徒、いじめていた児童生徒から聞き取りをし、正確な事実確認をした上で指導等を行いました。

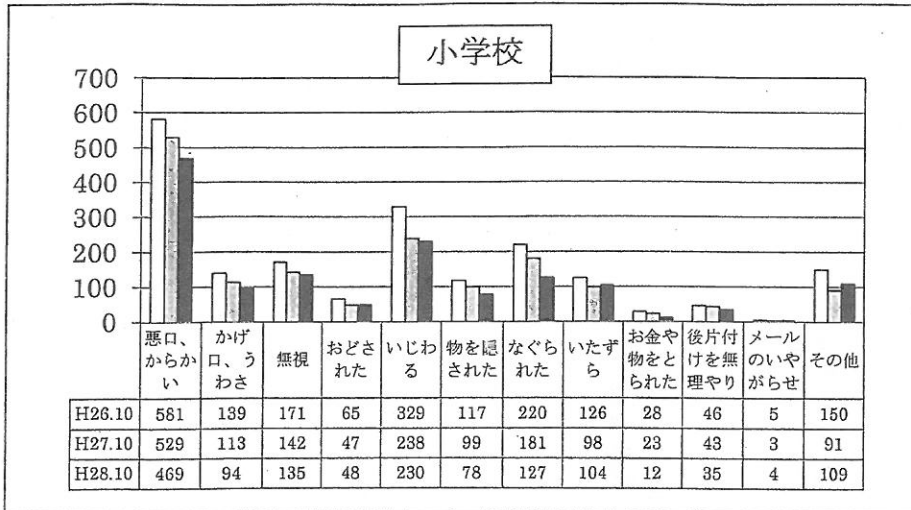
☆平成26～28年（10月実施）「いじめアンケート」の経年比較



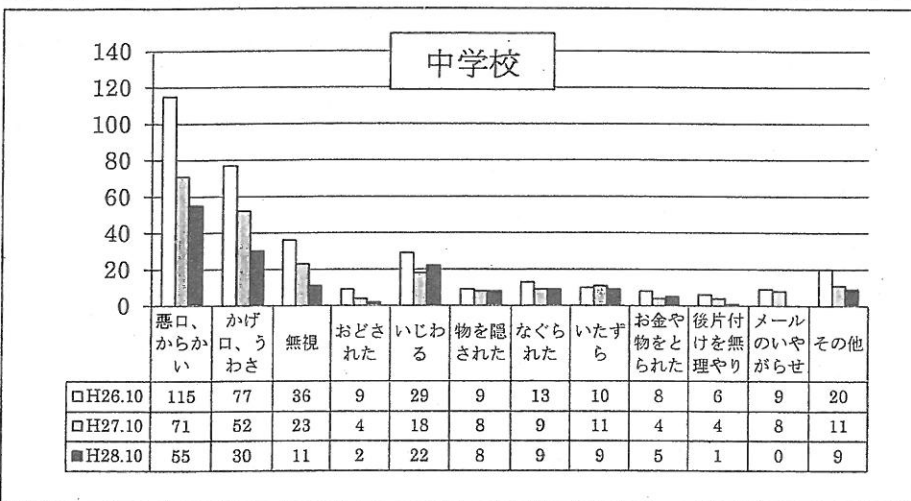
◎「あります」と回答した児童生徒の割合が毎年減少しています。これは、学校が未然防止の取組を進めている結果であると考えますが、引き続き、児童生徒の日々の様子の変化に気づくよう、全教職員で観察するとともに、いじめに関する校内研修を実施し、いじめを早期に見抜く感性を磨いていく必要があります。

また、児童生徒がいつでも誰にでも相談できるよう、良好な信頼関係を構築し、相談体制を整えることも大切です。

問2(1) どのようないじめを受けましたか。(複数回答) ☆平成26~28年(10月)の経年比較(児童・生徒用アンケート)



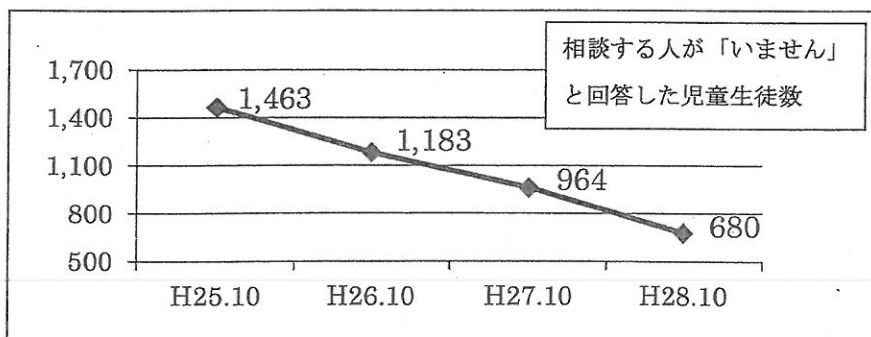
◎小学校、中学校とも「悪口、からかい」「かげ口、うわさ」「無視」「いじわる」と答えた人数が減少傾向にあります。「学び合い」のある授業を通して、子ども同士で聴き合う関係がつけられ、相手の気持ちや思いを受け止めた言動がとれるようになってきたためだと思われます。学校では、子どもたちの言語環境改善(小での「ほかほか言葉」等)や道徳教育、人権教育等の充実に取り組んでいます。



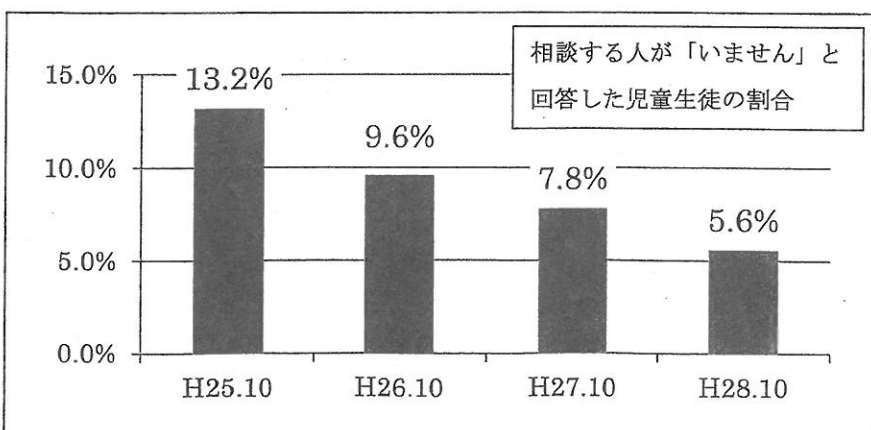
◎平成26年度から宇部市立全小・中学校で、NHK主催『いじめを考えるキャンペーン「100万人の行動宣言」』へ参加しています。子どもたち一人ひとりが、いじめをなくすためにできることを宣言し、宣言したことを守ろうと意識しながら学校生活を過ごしていることの成果とも言えます。

問6 今、あなたが、嫌なことをされて困った時に、相談する人はいますか。

☆平成25~28年の経年比較(児童・生徒用アンケート)



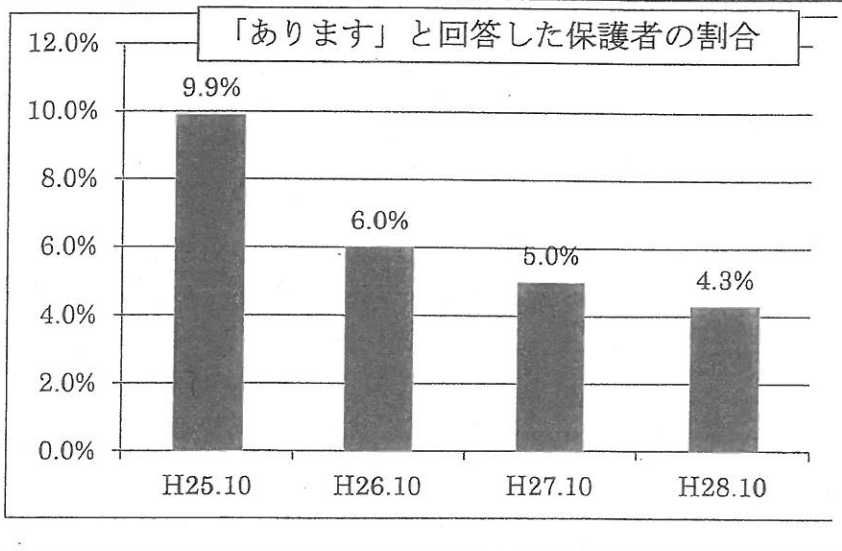
◎平成25年10月の13.2%の児童生徒が相談する人がいないという結果を受けて、教育相談体制の見直しや相談窓口の周知、家庭、地域との連携を進めてきました。今後も学校は、相談しやすい環境づくりや週一アンケートの質問項目や記入形態の見直し等、取組について工夫・改善する必要があります。



◎小・中学校合わせて680人(小334人、中346人)の児童生徒が相談する人は「いません」と回答しました。中学校では、8.7%(H28.6月9.0%)と、割合が比較的高くなっていることから、「いません」と回答した生徒への相談及び継続的な観察など、きめ細かな対応が必要と考えています。

問1 あなたのお子さんは、6月のアンケートを終えてから、いじめを受けたことがありますか。

☆平成26～28年の経年比較（保護者用アンケート）



◎本調査では、保護者対象のアンケートも行っています。今回、「あります」と、514人（小445人、中69人）の方に回答をいただきました。いじめをなくすためにできる学校や家庭での取組について、保護者の視点に立ったご意見も多数いただいています。今後も、学校は、保護者との連携を密にして、いじめの未然防止、早期発見、早期対応の取組を進めていきます。

いじめのサイン チェック項目 〈いじめのサイン発見シート(文部科学省より)〉

ご家庭で、お子様から出されるいじめのサインを見逃さないためのチェック項目です。登校前や夕食時など、日常生活の様々な場面で、“いじめのサイン”が出ている可能性がありますので、常に見守り、お子さまの変化に気づくことが、いじめの早期発見につながります。もし、お気づきがあれば、学校へご連絡ください。

朝

- 朝起きてこない。
- 学校を休みたがる。
- 遅刻や早退が増えた。

夜

- 表情が暗く、家族との会話も少なくなった。
- 学校や友達の話題が減った。
- ささいなことにイライラする。
- 自分の部屋に閉じこもる時間が増えた。
- なかなか眠れない。
- 学用品がなくなったり、こわれている。
- 教科書等に落書きをされている。

夕

- 必要以上のお金をほしがる。
- 携帯電話やメールの着信音におびえる。
- 勉強しなくなる。集中力がない。

いじめなどの相談窓口

☆総合教育相談窓口 **ほっとライン** 宇部

いじめや不登校のことなど、さまざまな悩みをもつ子どもと保護者のため、相談窓口を開設しています。みなさんからの相談を、電話やメール・ファックスで受け付けています。お子様の友人がいじめられているのを見たり、聞いたりしたときもご相談ください。

○連絡先 電話・FAX (0836)33-7830
電子メール kodomo-y@aurora.ocn.ne.jp

○相談受付時間（日・祝日・年末年始を除く）
月曜日から金曜日: 8:30～17:00
土曜日: 8:30～12:00

☆いじめ110番 〈24時間対応〉

（やまぐち総合教育支援センター）
電話 083(987)1202

問い合わせ
学校安心支援室
電話 (0836)34-8630
学校教育課
電話 (0836)34-8611